

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 6 月 8 日現在

機関番号：14301

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2013～2015

課題番号：25740063

研究課題名(和文)子供の安心・安全環境に資するコミュニティ機能の維持と地域ESDの構築

研究課題名(英文)Development of Local Education for Sustainable Development program for children's safety through local community enhancement

研究代表者

吉積 巳貴(Yoshizumi, Miki)

京都大学・学内共同利用施設等・准教授

研究者番号：30423023

交付決定額(研究期間全体):(直接経費) 3,400,000円

研究成果の概要(和文):本研究では、子供の安心・安全環境に資するコミュニティ機能の維持と地域ESDの構築を目的に、伝統的な地縁組織やコミュニティ活動が現在も維持されている歴史都市(京都、フエ)と、伝統的な地域コミュニティ活動がほとんど失われており、ほぼ地域コミュニティ活動がない現代都市(西宮、ダナン)において調査を進め、地域環境における子供の安心・安全環境阻害要因の整理、子供の安心・安全環境に資するコミュニティ機能の解明、子供の安心・安全環境に資するコミュニティ機能を持続する地域ESDプログラムの構築、を行った。そして、4地域の地域特性による地域ESDプログラムの相違点の解明し、他地域への適用方法を構築した。

研究成果の概要(英文):The purposes of this research project is to build/establish ESD (Education for Sustainable Development) in order to maintain functions of community and safe environment for children. I conducted field surveys and developed a pilot program of ESD in four case studies: in two historic cities (Kyoto, Japan and Hue, Vietnam) and 2 modern cities (Nishinomiya, Japan and Danang, Vietnam). In Kyoto and Hue, traditional activities of local communities have still sustained. In Nishinomiya and Da Nang, local community activities seem to have been lost mostly. Research results are the following; identified main factors which endanger children's environment in local communities; clarified communal functions which contribute to children's safety; developed ESD programs for maintaining such functions; found differences of each ESD program; examined possibility for applying the established ESD programs to other areas. 2 modern cities (Nishinomiya, Japan and Danang, Vietnam).

研究分野：まちづくり

キーワード：持続可能な発展のための教育 子供の安全 地域コミュニティ

1. 研究開始当初の背景

地域コミュニティの交流が薄れゆく都市化社会では子供が巻き込まれる犯罪や事故が増え、安全性が低下している。都市化社会においては他人のことは干渉しないという風潮が強まることにより、地域コミュニティぐるみの子育てや安全を確保することが困難になってきている。内閣府「治安に関する世論調査」からも地域社会の連帯意識の希薄化により、最近の治安が悪化したと思う人が多いことが示されている。その理由としては、近所の人々が親交を深められる機会が不足し、人々の居住地に対する親近感が希薄化しており、子どもを他人と交流させることに対する抵抗が増していることが指摘されている。

急激に都市化が進むベトナムでも、増加する交通による事故、経済格差による犯罪の増加、環境汚染、自然災害だけでなく、伝統的な地域コミュニティの共助により災害被害を減少してきたが、都市化により伝統的な地域コミュニティ活動実施が減少し、コミュニティ交流や共助関係が衰退し、地域の安全性が失われていることが今までの研究成果から明らかになった。

一方、持続可能な社会づくりにおいては地域コミュニティの主体的参加が不可欠であることが今までの研究成果から明らかになった。防災研究でも、日常の地域コミュニティ活動を通じたコミュニティの交流、そして結束力が地域防災力を高めていることが指摘されている。

子供に安全な地域環境づくりにおいて重要なポイントは、地域コミュニティであることは先行研究から明らかになっているが、問題は地域コミュニティ活動への参加事態が減少している現代社会において、今後どのようにして地域コミュニティ活動を促進し、地域の安全性を確保できるかであり、その方法は依然明らかにされていないのが現状である。

このような背景の中で、町内会による活動や地蔵盆などの伝統的な地域コミュニティ活動がほとんど失われている兵庫県西宮市は、新たな地域コミュニティ活動を創造し促進する ESD プログラムを実施している。このプログラムは環境省で ESD モデルとして選定されている (<http://esd.leaf.or.jp/>)。西宮の ESD プログラムでは数多くの活動が実施されており、例えば地域の人々が主体的にまちづくりに参加する「エココミュニティ会議」や、地域学習支援活動、そして子供を中心に相互学習を通して地域の人々をつなげる「エコカード・システム」のプログラム等に西宮市内の保育園から小中校、大学、企業、行政、NPO そして地域住民が参加して実施してい

る。

ESD は概念が広すぎて、その活動内容や目的までも曖昧で、単なる環境教育の延長に実施されている事が多い。このような中で、西宮が実施している ESD の取り組みは、持続可能な社会を実現するため、地域コミュニティ力を高め、地域コミュニティ活動を活発化することを目的に取り組んでいる。申請者は西宮の取り組みに早い段階から調査し、住民参加型まちづくりに ESD が重要なツールの一つと成り得ることが明らかになったが(研究業績 6 等) 地域、特に子供の安全性を確保につながる ESD の可能性についてはまだ調査できていない状況である。また西宮の ESD プログラムの他地域への適用性、特に地域コミュニティ活動が存続している地域への適用について検討する必要がある。

2. 研究の目的

本研究では「子供の安心・安全環境に資するコミュニティ機能の維持と地域 ESD の構築」を行う。本研究は、伝統的な地縁組織やコミュニティ活動が現在も維持されている歴史都市型の地区と、伝統的な地域コミュニティ活動がほとんど失われており、ほぼ地域コミュニティ活動がない現代都市型の地区において調査を進めることで、既存コミュニティ活動を維持する場合と新しいコミュニティ活動を創造する場合とを比較しながら研究を進める。また日本において研究を進める一方で、日本の経験を踏まえて、近年急激に都市化が進むベトナムの新しいまちづくりの方向性をつくるべく、ベトナムでも研究を行い、同様な課題をもつアジア諸都市への適用を検討する。調査都市としては、歴史都市型として日本では京都、ベトナムではフエを、そして現代都市型として日本では西宮、ベトナムではダナンを対象に研究を行う。

特に本研究では、西宮で実施している ESD プログラムを子供の安心・安全環境の観点から再検討し、実践的な子供の安心・安全環境に資する ESD プログラムとその評価指標を構築し、それぞれの地域特性にあわせた ESD プログラムを構築する。

3. 研究の方法

本研究は、伝統的な地縁組織やコミュニティ活動が現在も維持されている歴史都市の京都とフエ、そして伝統的な地域コミュニティ活動がほとんど失われている都市である現代的都市の西宮とダナンにおいて、現地の行政と大学、NPO と連携して研究を行う。研究 1 年目(平成 25 年度)には、統計調査、聞き取り調査、ワークショップによる議論や安全マップづくり等を通して 地域環境における子供の安心・安全環境阻害要因を明らかにし、子供の安心・安全環境に資するコミュニティ機能の解明、を行う。その結果を踏まえ、西宮の ESD プログラムを再構築し、

子供の安心・安全環境に資するコミュニティ機能を持続するESDプログラム、及び評価枠組みの構築を行う。2年目(平成26年度)には、構築したプログラムのパイロット事業を実施し、3年目(平成27年度)に、地域特性によるESDプログラムの相違点の解明、及びESDプログラムと評価枠組みの修正を行い、他地域への適用方法の構築、の研究を行う。

4. 研究成果

本研究は、伝統的な地縁組織やコミュニティ活動が現在も維持されている歴史都市(京都、フエ)と、伝統的な地域コミュニティ活動がほとんど失われている現代都市(西宮、ダナン)において調査した結果、以下のことが明らかになった。

地域環境における子供の安心・安全における課題として、西宮では、地域コミュニティによる活動の減少や核家族化により、特に未就園児の親子が、必要な情報を得たり、支援を得ることができない状況になっていることが明らかになった。また、親世代の自然体験がほとんどなく、その結果、子供達も自然体験の機会が失われており、自然体験を通じた基礎力が欠如している課題も明らかになった。この課題は、西宮で顕著であり、地蔵盆が残っている京都ではその問題性は低かった。その背景として、地蔵盆の行事を通して、未就園児親でも情報が得られる機会があることがわかった。しかしながら、子供人口の減少により、地蔵盆が継続することが難しくなっている地域が出ていることが京都では課題である。ベトナムでは、都市開発が進むことで、交通事故が頻発し、子供が外で遊ぶための空間が不足していることが課題として明らかになった。ベトナムでは、伝統的の中秋節行事が、子供が外で遊ぶ機会になっており、フエでは路地裏の存在や、地域コミュニティ活動が残っていることから、減ってはいるが、伝統的の中秋節行事が継続されている。しかしながら、ダナンでは都市化が進むことでその数も減っていることがわかった。

これらの課題解決のため、西宮では未就園児親子を対象にした自然体験プログラムを開発し、パイロット事業を行った。また西宮のパイロット事業と、京都の地蔵盆、そしてベトナムの伝統的の中秋節行事を基に、ベトナム版ESDプログラムをフエ、ダナンで開発し、それぞれの地区でパイロット事業を行った。地域性の違いにより、フエでは、歴史文化や洪水対策に重点を置き、ダナンでは、ごみ問題を重点のプログラムが作られた。パイロット事業結果は、最終年にそれぞれワークショップを開催し、大きな評価を得て、今後も継続してそのプログラムを実施することが提案されている。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 11件)

吉積巳貴、未就園児親子のための自然体験型環境教育プログラムを通じた地域の子育て支援の可能性:西宮市における「未就園児親子のための森の子育て支援モデル事業」事例を通して、環境情報科学学術研究論文集、査読有、29巻、2015、351-356

Yoshizumi M.、"Community-based Environmental Urban Regeneration in Vietnam -A case study of Thuan Phuoc Ward, Danang City, Vietnam"、Proceeding of International Symposium on City Planning、概要査読有、2015、57-60

Yoshizumi M.、Yamamoto Y.、Hoang H. and Tran V. Q. "Piloting of an Environmental Management System in Da Nang, Vietnam - Its Challenges and Opportunities toward Creating Vietnamese Original EMS Scheme", "Proceeding of the 3rd EnvironmentAsia, Thai Society of Higher Education Institutes on Environment (TSHE)、査読有、2015、339-348

白崎里美、小林広英、吉積巳貴、ベトナム中部フエ旧市街の市民文化継承に関する調査研究 - 路地コミュニティ・ソムにおける伝統的の中秋節行事に着目して -、公益社団法人日本都市計画学会都市計画報告集 No.13、査読無、pp.184-187、2015

Yoshizumi M.、and Kobayashi H.、Issues surrounding children's safety in the relocation projects in the historical old quarters of Hue city, Central Vietnam, Proceeding of International Symposium on City Planning 2014、概要査読有、2014.

Yoshizumi M.、and Ngoc T. N. Community cooperation to cope with urban issues in ASEAN countries: Case study on the historic old quarters of Hue city, Central Vietnam, Proceeding of the International Symposium on "ASEAN + 3 communities: Socio-Political Challenges on Identity and Difference", 概要査読有、Session C3-2、2014.

吉積巳貴「持続可能な地域づくりのための住民主体型環境まちづくりに関する一考察 -西宮エココミュニティ事業を事例に-」都市計画論文、査読有、Vol.48、No.3、p.831-836、2013

Yoshizumi M.、Hoang T. P.、Ngoc T. N.、and Kobayashi H.、Sustainable Community Resilience in Hue, Vietnam, Proceeding of International Workshop

on "Traditional Architecture and Community", 査読有, pp.145-158, 2013
Yoshizumi M., and Kobayashi H., Community adaptation to flood risk in urban and rural areas of Vietnam-Case study of Thuan Thien Hue province in Central Vietnam-, Proceeding of International Symposium on City Planning 2013, 概要査読有, pp.50, 2013.

Yoshizumi M., Evaluation Frameworks on Education for Sustainable Development Initiatives toward Sustainable Community Development: through a case study in Nishinomiya, Japan, Proceeding of The 2nd Environment Asia International Conference on "Human Vulnerability and Global Environmental Change", 査読有, pp.94, 2013

Yoshizumi M., Ngoc T. N., and Kobayashi H., Impacts of Rapid Urbanization to Traditional Living Environment and Community Linkage in Historic Old Quarters of Vietnam: A Case Study on Gia Hoi Area in Hue City, Central Vietnam, Journal of Civil Engineering and Architecture, 査読有, Volume 7, No. 5 (Serial No. 66), pp.555-565, USA, 2013

〔学会発表〕(計 6 件)

Miki Yoshizumi, "Piloting of an Environmental Management System in Da Nang, Vietnam - Its Challenges and Opportunities toward Creating Vietnamese Original EMS Scheme", EnvironmentAsia, International Conference, Montien Riverside Hotel, Bangkok, Thailand, 2015 年 6 月 17 - 19 日

Miki Yoshizumi, Community-based Environmental Urban Regeneration in Vietnam -A case study of Thuan Phuoc Ward, Danang City, Vietnam, International Symposium on City Planning, Convention Center, Sejong City, Korea, 2015 年 8 月 20 日 ~ 22 日

吉積巳貴, 未就園児親子のための自然体験型環境教育プログラムを通じた地域の子育て支援の可能性: 西宮市における「未就園児親子のための森の子育て支援モデル事業」事例を通して, 環境情報科学センター 環境情報科学センター, 日本大学, 東京, 2015 年 12 月 1 日

Yoshizumi M., and Ngoc T. N. "Urban issues endangering children's safety in the historical old quarters of Hue city, Central Vietnam (ポスター発表)

", The 2nd International Symposium on Formulation of the Cooperation Hub for Global Environmental Studies in the Indochina Region & The 9th Inter-University Workshop on Education and Research Collaboration in the Indochina Region, Can Tho University, Vietnam, 2014 年 9 月 27 日

Yoshizumi M. "ESD Programs to sustain and enhance local community capacity for child-safe environment in Vietnam:Case study on Hue and Danang city", The 2nd International Symposium on Formulation of the Cooperation Hub for Global Environmental Studies in the Indochina Region & The 9th Inter-University Workshop on Education and Research Collaboration in the Indochina Region, Can Tho University, Vietnam, 2014 年 9 月 27 日

吉積 巳貴, 持続可能な地域づくりのための住民主体型環境まちづくりに関する一考察 -西宮エココミュニティ事業を事例に-, 日本都市計画学会 2013 年度 (第 48 回) 学術研究論文発表会、法政大学市ヶ谷田町校舎 (東京) 2013 年 11 月 10 日

〔図書〕(計 5 件)

吉積巳貴, 森晶寿、東アジアのソーシャル・キャピタルと経済発展 (坪郷實編『ソーシャルキャピタル』第 7 章) ミネルヴァ書房、2015

Nguyen Ngoc Tung, Kobayashi H., Nawit Ongsavangchai, Yoshizumi M.、"Transformation and Conservation of Traditional Garden Houses in Hue Citadel Area, Vietnam", In Huế Limited Liability Company Hue, Vietnam, 2016, 286

Yoshizumi M., Ngoc T. N., Truong H. P., and Kobayashi H. Traditional Architecture and Community, Tan Phat Printing & Advertisement Joint-Stock Company, 2015

Yoshizumi M., Ngoc T. N., Hoang T. P., and Kobayashi H. Sustainable Community Resilience in Hue, Vietnam, "Traditional Architecture and Community", Tan Phat Printing & Advertisement Joint-Stock Company, 2015

Yoshizumi M., Education aimed at the sustainable management of the sato environment, in Yoh Yamashita (ed) Connectivity of Hills, Humans and Oceans: Challenge to Improvement of

Watershed and Coastal Environments,
Kyoto University Press, 2014

〔産業財産権〕

出願状況（計0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況（計0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

吉積 巳貴 (Yoshizumi, Miki)

京都大学・森里海連環学教育ユニット・特定

准教授

研究者番号：30423023

(2) 研究分担者

(3) 連携研究者